令和8年度高部屋小学校グランドデザイン

## 学校教育目標

**やさしく　かしこく　たくましく　ベストをつくす　高部屋っ子**
**～豊かな心で豊かな学びを創造する～**

### 豊かな人間性（徳）

・自分の良さに気づき、友達の良さを認められる子
・学校やふるさとの良さに気づき、大事にする子

### 健康・体力（体）

・自分の健康や安全に気をつけて生活できる子
・強くしなやかな心と体を持つ子

### 資質・能力の育成（知）

**何ができるようになるか**
育成を目指す資質・能力

・日常生活における人とのかかわりの中で、必要な思考力・判断力・表現力等を身につける
・「あたたかい聴き方　やさしい話し方」ができる
・健康・安全な生活を送るための基礎を培う

**何が身に付いたか**
学習評価の充実

・学習したことや体験したことと学習活動等とを比べたりつなげたりする
・自分の考えを持ち、学び合うことを通して、自分の考えを広げたり深めたりする
・児童自ら学習の進め方を改善していけるよう指導・支援する

**児童の実態**

・明るく元気である
・あいさつを心がけている
・集団を意識した行動ができる
・「あたたかい聴き方、やさしい話し方」を心がけている
・自己有用感や持続力を高めたい

**児童の発達をどのように支援するか**

・子どもサポート部を中心としたチーム対応により、児童と学級を多面的にサポート
・職員間の情報共有による児童理解
・個に応じたきめ細やかな指導（教育相談コーディネーターやスクールカウンセラー、指導補助員、介助員等や外部機関と連携、個のニーズを把握し支援）

**目指す児童の姿**

・自分の考えや思いを表現できる子
・お互いの良さを認め合い高め合う子
・状況に応じて判断し生活できる子

**何を学ぶか**
教育課程の編成

・教科等における、「知識・理解」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性」の育成
・教育活動全体を通じて「聴いて　考えて　つなげる」を身につける
・家庭と連携した学習習慣の確立

**どのように学ぶか**
教育課程の実施

・「あたたかい聴き方、やさしい話し方」を基盤とした活動
・自分の考えのあしあとがわかる「ノート」づくり
・「学びのプラン」作成による「単元を通してつけたい力」の明確化
・ICTの活用による個に応じた指導
・児童が自己調整しながら学習を進めていくための支援

**実施するために何が必要か**
教員の資質・能力の向上、指導体制の充実、家庭・地域等との連携・協働

<教員の資質・能力の向上>
・学校研究及び校内研修会の充実　講師招聘のほか、校外での研修会への参加や他校との研究等の交流
・日頃から互いに授業を見合い、話題にできる関係づくり

<指導体制の充実>
・教科担当制等の実施により、チームで指導・支援にあたる体制
・子どもサポート部による組織的な児童指導の体制
・いじめ等に対する迅速かつ適切な初期対応及びチーム対応

<家庭・地域等との連携・協働>
・面談等による家庭との連携
・市内の各教育機関や市内外の関連機関等との連携

**安心・安全を守る**

<安全教育の実施>
・交通安全教育（交通安全教室等）、通学路点検
・防犯教育（「いかのおすし」指導、不審者対応訓練）
・防災教育（避難訓練、シェイクアウト訓練）
<職員の研修・訓練>
・普通救命救急・エピペン使用法・消火・引き渡し等の訓練

**地域とともにある学校づくり**

・家庭・地域へ教育活動の情報発信・受信（各種たより、学校HP、学習参観、学校評価等）
・コミュニティスクール（学校運営協議会）　目標やビジョンを共有し、地域と一体となって児童を育む
・《地域学校協働活動》や地域諸団体との連携